

# 教育研修講演のお知らせ

## 日本整形外科学会教育研修単位

次頁の講演は、日本整形外科学会教育研修単位が認められております。(各1単位)

※取得可能単位数の上限はなくなりました。

### 申込方法

1. 教育研修講演受付にて本誌巻頭の綴じ込みの「日本整形外科学会教育研修講演受講申込書」に必要な事項をご記入の上、日整会 IC 会員カードと受講料（1セッション：1,000円）を添えてお申し込みください。  
※受講証明が必要でない方は無料で受講できますが、受講料をお支払いの方の入場を優先します。  
※日整会 IC 会員カードをお忘れの方は、仮 IC カード発行デスクにて仮の IC カードを発行してください。
2. 講演開始 10 分前から開始後 10 分までに、IC 会員カードまたは仮 IC カードを講演会場入口のカードリーダーにかざして出席登録を行ってください。10 分を過ぎた場合や手続きが完了していない場合、途中退場された場合は、単位取得はできません。
3. 学会終了から 10 日間程度で、日整会ホームページの取得単位確認画面の単位振替システムでご自身の取得状況を確認できます。
4. **研修手帳をお持ちの方も**、IC 会員カードで出席確認を行うため、日整会ホームページの会員専用ページの単位取得履歴に記録が残ります。このため、受講証明印を受ける必要はありません。該当する必須分野のページに必要な事項を記入し、受講証明印の欄に「会員カード」または「HP 参照」と記入してください。更新時には、ホームページ上の取得履歴と照合いたします。

### ご注意

1. 会場には講演開始後 10 分までに入場してください。10 分後に入場されても受講単位は認められません。また途中退場される場合も受講単位は認められません。
2. 受講料は講演中止などの理由以外では払い戻しいたしません。また受講取り消し・変更の手続きや領収書の発行はいたしません。
3. 教育研修講演のみを受講される方も学会参加登録が必要です。
4. 2015 年（平成 27 年）1 月 1 日より、日本整形外科学会教育研修講演における単位取得が完全デジタル化されております。教育研修講演の単位取得にあたっては、IC 会員カードが必要になりますので、必ずご持参ください。カードがお手元のない方は日本整形外科学会事務局（03-3816-3671）までお問い合わせください。
5. 本会は現金決済のみとなります。クレジット機能はご使用いただけませんので、ご了承ください。
6. 単位の必須分野番号を受講当日に選択することはできません。後日、日本整形外科学会会員専用ページ内の「単位振替システム」を利用して、ご自身でご希望の必須分野番号への振り替えをお願いいたします。

## 日整会教育研修単位一覧

## 第 50 回日本人工関節学会

## 特別講演

No.	演題名	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	日整会 認定番号 19-3015-
1	人工股関節摺動面の歴史と進歩：長期耐用への挑戦	山本 謙吾	P277	10	22日 14：20～15：20	N	1, 11	046

## レジェンドセミナー

No.	演題名	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	日整会 認定番号 19-3015-
1	Total Knee Arthroplasty (TKA) 1970-2020	W Norman Scott	P278	1	21日 13：00～14：00	N	1, 12	013
2	THA 未来への提言	飯田 寛和	P279	10		N	1, 11	014

## 招待講演

No.	演題名	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	日整会 認定番号 19-3015-	
1	Eighteen years of experience with the Direct Anterior Approach	Michael Nogler	P280	8	21日 14：10～15：10	N, Re	11, 13	017	
2	TKA-Surgical Technique, "Where are we Going?"	W Norman Scott	P281	1	22日	N	1, 12	042	
3	The UK National Joint Registry: What difference has it made to how we practice arthroplasty in the last 15 years?	Tim Wilton	P282	8		10：30～11：30	N	11, 12	030
4	The Direct Anterior Approach for Total Hip Replacement: Extesile Approaches, Stem Selection, and Use of Fluoroscopic Navigation	David Rovinsky	P283	8		12：50～13：50	N, Re	11, 13	045

## 教育研修講演

No.	演題名	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	日整会 認定番号 19-3015-	
1	The BJJ: What can we learn and how to get published?	Tim Wilton	P284	1	21日 14：10～15：10	N	1, 13	015	
2	人工関節レジストリーから見るわが国の人工関節置換術	秋山 治彦	P284	10		N	11, 12	016	
3	人工肩関節の半世紀と提言	山門 浩太郎	P285	2	22日	N	1, 9	018	
4	人工膝関節の半世紀と提言—生理的膝再建を目指して—	赤木 将男	P285	1		15：20～16：20	N	1, 12	028
5	人工関節分野における特許庁平成30年度「特許出願技術動向調査」の報告	安田 昌司	P286	2		10：20～11：20	N	11, 12	031
	工学的手法を用いた人工関節関連技術の開発	中西 義孝	P286						
6	人工足関節の半世紀と提言	田中 康仁	P287	2		12：50～13：50	N	1, 12	044
7	人工手関節の半世紀と提言	三浪 明男	P287	3			N	1, 10	043
8	人工股関節の半世紀と提言	菅野 伸彦	P288	10		10：20～11：20	N	1, 11	029

## ビデオセッション

No.	演題名	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	日整会 認定番号 19-3015-	
1	リパース型人工肩関節置換術の実際と後療法	末永 直樹	P289	2	21日	N	9, 13	003	
2	高度内反変形膝に対する TKA の Pitfall とコツ	阿部 信寛	P289	10		10：10～11：10	N	12	001
	高度外反変形膝に対する TKA の Pitfall とコツ	中村 卓司	P290				8：30～9：30		
3	セメント THA を安全確実に実施する為の手術手技ポイント	岩瀬 敏樹	P290	10	10：10～11：10	N	4, 11	002	
	セメントレス THA の手技・工夫	山本 卓明	P291						

## ランチョンセミナー

No.	演題名	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	日整会 認定番号 19-3015-
1	変形性膝関節症に対する抗炎症治療の重要性	内尾 祐司	P292	2	21日 11:30~12:30	N	1, 4	004
2	Robotic Assisted Surgery: How It Makes a Difference in Knee Replacement	David Rovinsky	P292	3		N, Re	1, 12	005
	NAVIO ロボット支援による十字靭帯温存 TKA: パラダイムシフト	赤木 将男	P293					
3	Compaction Broaching and HA-Coated Stems in THA: Design Philosophy and Clinical Heritage	Atul Kamath	P293	4		N	11	006
	簡単・確実にフェアウェイをキープする THA-Hip Grid Drone を用いた術中支援 -	福島 健介	P294					
4	All range stability と患者満足度の両立 -MCL minimum invasive technique の提案 -	日野 和典	P294	5		N, S	2, 12	007
5	多種多様化時代における適切なステム選択	小川 博之	P295	6		N	11	008
	short stem の特徴を最大限に利用する人工股関節置換術	赤石 孝一	P295					
6	関節痛の基礎と臨床～変形性関節症を中心に～	池内 昌彦	P296	7		N	1, 4	009
7	Robotic Arm Assisted Knee Arthroplasty	Thomas Coon	P296	8		N	1, 12	010
8	Initia Hip System, Direct Anterior Approach, Outpatient/Inpatient	Charles E Toulson	P297	9	N	11, 13	011	
9	痛みと吐き気のない術後環境を目指して -アセトアミノフェン静注液を軸とした戦略で術後早期の DREAM を達成する-	谷口 英喜	P297	11	N, Re	13	012	
	下肢人工関節置換術後疼痛に対する各種鎮痛方法の取り組み -アセトアミノフェン静注剤の有効性の検討-	福西 成男	P298					
10	Robotics & AI テクノロジー時代、その前にマニュアル TKA テクニックを総復習—CR プライマリーからリビジョンまで—	杉本 和隆	P298	1	N	1, 12	032	
11	アジア人の骨形態、膝動態から考える TKA	富田 哲也	P299	2	N	1, 12	033	
	アジア人に最適な TKA デザイン、および手術手技の提案	龍 啓之助	P299					
12	変形性膝関節症の病態と疼痛治療のアップデート	石島 旨章	P300	3	N	1, 12	034	
13	正常膝を目指した非対称性デザイン (KR) 型 TKA の有用性	五十嵐 達弥	P300	4	N	1, 12	035	
14	Medial-Pivot 型人工膝関節の歴史・評価および展望	岩城 啓好	P301	5	N	1, 12	036	
15	筋腱完全温存 ALS THA にはショートテーパーウェッジシステムが最適 ～目指すサジタルアライメントとオフセットの選択～	久留 隆史	P301	6	22日 11:40~12:40	N	1, 11	037
16	関節包靭帯温存後方アプローチ	坂越 大悟	P302	7		N	11, 13	038
	ポータブルナビゲーションを使用した後方アプローチ	谷野 弘昌	P302					
17	The DAA without a special Table for revision total hip arthroplasty-technical concepts, avoiding complications and clinical experience.	Michael Nogler	P303	8		N	2, 11	039
18	内反膝と外反膝に対する関節温存手術の選択	岡崎 賢	P303	9		N	1, 12	040
19	人工股関節全置換術における最適なインプラント設置位置と設置アライメント	加畑 多文	P304	11		N, Re	11, 13	041
	Dual mobility cup はどのような症例に適応とすべきか	仁平 高太郎	P304					

## イブニングセミナー

No.	演題名	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	日整会 認定番号 19-3015-
1	【統】 実践 股・膝関節の変形性関節症に対する再生医療 (cell therapy) ～APS 療法 1 年を経過して見えてきたもの～	桑沢 綾乃	P305	1	21日 17:50~18:50	N	1, 12	019
2	TKA における患者特異型ガイドを併用したメカニカルナビゲーションの有用性	佐藤 卓	P305	2		N	1, 12	020
3	人工股関節全置換術における併存症と合併症に対する対処	坂井 孝司	P306	3		N	11	021
4	最近の後側方人工股関節置換術と理想的な軟部組織処理	青田 恵郎	P306	4		N, Re	11, 13	022
5	Inlay/Onlay Reverse Shoulder Arthroplasty 適応とメリット・デメリット	山門 浩太郎	P307	5		N	9	023
6	低侵襲前方進入 THA (AMIS 手技・組織温存手技) において必要な解剖知識と手術手技	西脇 徹	P307	8		N, Re	11, 13	024

モーニングセミナー

No.	演題名	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	日整会 認定番号 19-3015-
1	人工膝関節置換術におけるアウトライヤーと術後疼痛を減らす為の基礎知識について	諸岡 孝明	P308	4	22日 8:00~9:00	N, Re	1, 12	025
2	関節リウマチにおける骨関節破壊機序と足部手術の最新トピックス	蛭名 耕介	P308	5		N, R	4, 6	026
3	新形状圧迫パッドを併用したTKA周術期腫脹疼痛対策 ―ドレーン要らずで腫れない膝を！―	佐藤 卓	P309	7		N, Re	12, 13	027

<日整会専門医資格継続必須分野番号>

- (S) スポーツ単位
- (R) リウマチ単位
- (SS) 脊椎脊髄病単位
- (Re) 運動器リハビリテーション単位
- [1] 整形外科基礎科学
- [2] 外傷性疾患（スポーツ障害を含む）
- [3] 小児整形外科疾患（先天異常、骨系統疾患を含む、ただし外傷を除く）
- [4] 代謝性骨疾患（骨粗鬆症を含む）
- [5] 骨・軟部腫瘍
- [6] リウマチ性疾患、感染症
- [7] 脊椎・脊髄疾患
- [8] 神経・筋疾患（末梢神経麻痺を含む）
- [9] 肩甲帯・肩・肘関節疾患
- [10] 手関節・手疾患（外傷を含む）
- [11] 骨盤・股関節疾患
- [12] 膝・足関節・足疾患
- [13] リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）
- [14-1] 医療安全
- [14-2] 感染対策
- [14-3] 医療倫理
- [14-4] 保険医療講習会、臨床研究/臨床試験講習会、医療事故検討会、医療法制講習会、医療経済（保険医療を含む）に関する講習会、地域医療/医療福祉制度に関する講習会、専門医としての人間性並びに社会性向上に資する講習会（医師患者間のコミュニケーションに関する講演や専門領域以外の科学的もしくは文化的な講演などを含む）など
- [14-5] 医学全般にわたる講演会などで、14-1~14-4に当てはまらないもの